

シラバスを参照したい科目をクリックしてください。

[戻る](#)

タイトル	開講所属	時間割コード	授業科目名			主担当 教員	対象年次	学期	曜日・校 時	開講期間
2014年度シラバス (教養教育科目)	教養教育-教養教育 留学生科目	20140575009001	●日本事情	和	E	源島 福己	1年,2年,3年,4年	後期	水 2	～
2014年度シラバス (教養教育科目)	教養教育-教養教育 留学生科目	20140589000101	●日本語中級 II 読解	和	E	古本 裕美	1年,2年,3年,4年	前期	水 1, 水 2	～
2014年度シラバス (教養教育科目)	教養教育-教養教育 留学生科目	20140589000401	●日本語上級 I S	和	E	松本 久美子	1年,2年,3年,4年	前期	水 3, 水 4	～
2014年度シラバス (教養教育科目)	教養教育-教養教育 留学生科目	20140589000701	●日本語上級 II S	和	E	永井 智香子	1年,2年,3年,4年	前期	火 3, 火 4	～
2014年度シラバス (教養教育科目)	教養教育-教養教育 留学生科目	20140589000702	●日本語上級 II S	和	E	畠田 美有紀	1年,2年,3年,4年	前期	木 3, 木 4	～
2014年度シラバス (教養教育科目)	教養教育-教養教育 留学生科目	20140589000703	●日本語上級 II S	和	E	源島 福己	1年,2年,3年,4年	前期	金 3, 金 4	～
2014年度シラバス (教養教育科目)	教養教育-教養教育 留学生科目	20140589001001	●日本語上級 II A	和	E	源島 福己	1年,2年,3年,4年	後期	火 3, 火 4	～
2014年度シラバス (教養教育科目)	教養教育-教養教育 留学生科目	20140589001002	●日本語上級 II A	和	E	古本 裕美	1年,2年,3年,4年	後期	木 3, 木 4	～
2014年度シラバス (教養教育科目)	教養教育-教養教育 留学生科目	20140589001003	●日本語上級 II A	和	E	永井 智香子	1年,2年,3年,4年	後期	金 3, 金 4	～

[戻る](#)

タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 留学生科目**」
 シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	水2
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	20140575009001	科目番号	05750090
授業科目名	●日本事情		
編集担当教員	源島 福己		
授業担当教員名(科目責任者)	源島 福己		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	源島 福己		
科目分類	留学生用科目		
対象年次	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態	講義科目
教室	[教養A棟]A-14		
対象学生（クラス等）	留学生		
担当教員Eメールアドレス	fgenjima@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	言語教育センター2階		
担当教員TEL	095-819-2238		
担当教員オフィスアワー	水曜日16:10～17:40		
授業の概要及び位置づけ	雇用環境とキャリアについて学ぶ。日本社会で増大する非正規社員や契約社員の増加と、それらもたらす問題等を検証しながら、社会構造の変化や仕事観、キャリア観を交えて、キャリアの理解を深める。		
授業到達目標	日本の企業に必要とされる能力、学力、資格、性格、態度、意欲、経験等の主要な要素とは何か、どの程度必要か、どのようにして高めることができるかを理解し、またそれを踏まえて日本企業で働く場合を想定した実際の就職活動ができるようになる。		
授業方法（学習指導法）	日本語と英語の資料に基づいて講義し、その内容についてグループで議論し、議論した内容を発表する。また授業中に小テストを行う。		
授業内容	回	内容	
	1	10月1日（水） 授業のオリエンテーションとアンケート調査	
	2	10月8日（水） 大学の就職事情	
	3	10月15日（水） ニートとフリーターの問題	
	4	10月22日（水） 高等教育におけるキャリア教育の位置づけ	
	5	10月29日（水） 社会人基礎力（英語）	
	6	11月5日（水） 私の留学目的と社会人基礎力(プレゼンテーション)	
	7	11月12日（水） 企業に関する知識	
	8	11月19日（水） 会社と財務諸表	
	9	11月26日（水） 会社選びと企業分析	
	10	12月3日（水） 企業分析と私の働きたい企業（発表会）	
11	12月10日（水） 企業分析と私の働きたい企業（発表会）		

	12	12月17日（水）ライフストーリーと自己認識
	13	12月24日（水）VPI（職業興味検査）
	14	1月7日（水）私のVPIと希望する職業（プレゼンテーション）
	15	1月14日（水）私のVPIと希望する職業（発表会）+まとめ
	16	
キーワード	ニート、フリーター、キャリア、社会人基礎力、VPI	
教科書・教材・参考書	教科書は使用しない。 参考図書：キャリア教育概説 日本キャリア教育学会編	
成績評価の方法・基準等	毎回出席を前提とした授業への参加 10点 レポート60点 小テスト20点 プレゼンテーション10点	
受講要件（履修条件）	高度な日本語の能力 高度な英語の理解力	
備考（URL）		
学生へのメッセージ		



タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 留学生科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	水1,水2
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	20140589000101	科目番号	05890001
授業科目名	●日本語中級II読解		
編集担当教員	古本 裕美		
授業担当教員名(科目責任者)	古本 裕美		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	古本 裕美		
科目分類	留学生用科目		
対象年次	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態	演習科目
教室	[教養A棟]A-14		
対象学生（クラス等）	学部1年, 2年, 3年, 4年		
担当教員Eメールアドレス			
担当教員研究室			
担当教員TEL			
担当教員オフィスアワー	木曜日3校時（12:50～14:20）		
授業の概要及び位置づけ	<ul style="list-style-type: none"> ・日本社会や日本文化をテーマにした素材をもとに、中級中期の日本語運用能力をバランスよく身につける。 ・授業の他に、予習と復習にも重きを置き、効果的な学習サイクルを身につける。 		
授業到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・中級中期レベルの文章を正確に理解できるようになること。 ・授業で扱ったテーマの内容について、自分の体験や考えを論理的に述べ、仲間とディスカッションできるようになること。 ・あるテーマについての考えを論理的に作文できるようになること。 		
授業方法（学習指導法）	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書に沿って、本文理解、学習項目の練習、聴解、作文等を繰り返す。 ・日本語運用能力養成のためのシャドーイング練習を行う。 		
授業内容	授業は、教科書に沿って行われる。授業をより深く理解するために、授業外の予習や復習も重視する。		
	回	内容	
	1	4月9日（水） 1校時：オリエンテーション, 2校時：第1課『色』	
	2	4月16日（水） 1校時：第1課『色』, 2校時：第2課『ユーモア・ジョーク』	
	3	4月23日（水） 1校時・2校時：第2課『ユーモア・ジョーク』	
	4	4月30日（水） 1校時・2校時：第3課『制服』	
	5	5月7日（水） 1校時：第3課『制服』, 2校時：第4課『算数』	
	6	5月14日（水） 1校時・2校時：第4課『算数』	
	7	5月21日（水） 1校時：中間試験（1）, 2校時：中間試験（2）	
	8	5月28日（水） 1校時・2校時：第5課『遊びと運動』	
9	6月4日（水） 1校時・2校時：第5課『遊びと運動』		

	10	6月11日(水) 1校時・2校時:第6課『お金』
	11	6月18日(水) 1校時・2校時:第6課『お金』
	12	6月25日(水) 1校時・2校時:第7課『水』
	13	7月2日(水) 1校時・2校時:第7課『水』
	14	7月9日(水) 1校時・2校時:第8課『遺伝』
	15	7月16日(水) 1校時・2校時:第8課『遺伝』
	16	7月23日(水) 1校時:最終試験(1), 2校時:最終試験(2)
キーワード		
教科書・教材・参考書	『中級を学ぼうー日本語の文型と表現82ー 中級中期』(平井悦子・三輪さち子, スリーエーネットワーク)	
成績評価の方法・基準等	次の6つを総合的に評価する。 1. クイズ (20%) 2. 中間試験 (25%) 3. 最終試験 (35%) 4. 宿題 (10%) 5. 授業への貢献度 (5%) 6. シャドーイング (5%)	
受講要件(履修条件)	<ul style="list-style-type: none"> ・プレースメントテストで受講を認められた学部正規留学生 ・プレースメントテストで受講を認められた学部所属の交換留学生 ・水曜日の1校時目と2校時目の両方に出席すること 	
備考(URL)		
学生へのメッセージ	LACSで, 時々, 自分の現在の評価をチェックしてください。 また, LACSには, 授業で使う資料が置いてあったり, お知らせが書いてあったりします。	



タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 留学生科目**」
 シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	水3,水4
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	20140589000401	科目番号	05890004
授業科目名	●日本語上級ⅠS		
編集担当教員	松本 久美子		
授業担当教員名(科目責任者)	松本 久美子		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	松本 久美子		
科目分類	留学生用科目		
対象年次	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態	演習科目
教室	[教養A棟]A-14		
対象学生（クラス等）	留学生		
担当教員Eメールアドレス	kumiko-m@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	教養教育B棟2階国際教育リエゾン機構教員室		
担当教員TEL	819-2242		
担当教員オフィスアワー	水曜5限		
授業の概要及び位置づけ	日本の大学で学習・研究するのに必要な上級レベルの日本語能力（特に読解能力）を習得する。		
授業到達目標	上級レベルの文法や語彙・表現を習得するとともに、上級レベルの文章を読解する能力を獲得する。		
授業方法（学習指導法）	現代日本について書かれたさまざまな種類の文章を読む。基本的には教科書の課に沿って授業を進める。授業では、①本文内容の理解、②文型・語彙・表現の確認、文型・表現練習、③内容確認、④本文の内容に関するディスカッション等を行う。		
授業内容	回	内容	
	1	オリエンテーション・第1課	
	2	小テスト・第1課	
	3	小テスト・第2課	
	4	小テスト・第3課	
	5	小テスト・第4課	
	6	小テスト・第5課	
	7	小テスト・第6課	
	8	テスト①・復習	
	9	小テスト・第7課	
	10	小テスト・第8課	
	11	小テスト・第9課	
	12	小テスト・第10課	

	13	小テスト・第11課
	14	小テスト・第12課
	15	テスト②・復習
	16	
キーワード	上級レベル、読解能力	
教科書・教材・参考書	『学ぼう！日本語中上級（日本語能力試験N1対応）』専門教育出版	
成績評価の方法・基準等	授業参加の積極性15%、宿題15%、テスト70%	
受講要件（履修条件）	日本語能力試験2級合格相当、または日本留学試験（日本語科目）200点得点相当の日本語能力を有する留学生	
備考（URL）		
学生へのメッセージ	3校時目と4校時目の両方とも出席すること。一方のみの出席は認めない。	



タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 留学生科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	火3,火4
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	20140589000701	科目番号	05890007
授業科目名	●日本語上級ⅡS		
編集担当教員	永井 智香子		
授業担当教員名(科目責任者)	永井 智香子		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	永井 智香子		
科目分類	留学生用科目		
対象年次	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態	演習科目
教室	[教養A棟]A-14		
対象学生（クラス等）	学部正規留学生、学部所属交換留学生		
担当教員Eメールアドレス	nagai@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	環境科学部 2F		
担当教員TEL	095-819-2239		
担当教員オフィスアワー	火曜 5限		
授業の概要及び位置づけ	テレビ番組のドキュメンタリーなどを10分程度に編集したものを教材として授業を行い、日本語運用能力の向上を目指す。特に語彙と日本語の連語の知識の増加を目指す		
授業到達目標	この授業を通じて、日本語の力の向上が実感できるというだけでなく、昭和から平成のかけての時代の変化についての知識も得られるということを目指したい		
授業方法（学習指導法）	ビデオを視聴することと、その内容に関するハンドアウトを使いながら授業を進める。また、毎週火曜の3校時目に小テストを行う。		
	回	内容	
	1	オリエンテーション ウォーミングアップ	
	2	日本語の書き言葉の練習	
	3	見るビデオの内容に関連したことについて話し合う ビデオ視聴 ハンドアウトを使って日本語運用練習	
	4	小テスト 見るビデオの内容に関連したことについて話し合う ビデオ視聴 ハンドアウトを使って日本語運用練習	
	5	小テスト 見るビデオの内容に関連したことについて話し合う ビデオ視聴 ハンドアウトを使って日本語運用練習	
		小テスト 見るビデオの内容に関連したことについて話し合う	

授業内容	6	ビデオ視聴 ハンドアウトを使って日本語運用練習
	7	小テスト 見るビデオの内容に関連したことについて話し合う ビデオ視聴 ハンドアウトを使って日本語運用練習
	8	小テスト 見るビデオの内容に関連したことについて話し合う ビデオ視聴 ハンドアウトを使って日本語運用練習
	9	小テスト 見るビデオの内容に関連したことについて話し合う ビデオ視聴 ハンドアウトを使って日本語運用練習
	10	小テスト 見るビデオの内容に関連したことについて話し合う ビデオ視聴 ハンドアウトを使って日本語運用練習
	11	小テスト 見るビデオの内容に関連したことについて話し合う ビデオ視聴 ハンドアウトを使って日本語運用練習
	12	小テスト 見るビデオの内容に関連したことについて話し合う ビデオ視聴 ハンドアウトを使って日本語運用練習
	13	小テスト 見るビデオの内容に関連したことについて話し合う ビデオ視聴 ハンドアウトを使って日本語運用練習
	14	小テスト 見るビデオの内容に関連したことについて話し合う ビデオ視聴 ハンドアウトを使って日本語運用練習
	15	小テスト 見るビデオの内容に関連したことについて話し合う ビデオ視聴 ハンドアウトを使って日本語運用練習
	16	
	キーワード	高度経済成長
	教科書・教材・参考書	テレビ番組を編集したビデオ ハンドアウト
	成績評価の方法・基準等	小テスト50% 授業への取り組み20% 作文30% (変更の可能性あり、変更した場合は初日のオリエンテーションで伝える)
	受講要件(履修条件)	プレースメントテストで受講を認められた学部正規留学生 プレースメントテストで受講を認められた学部所属の交換留学生
	備考(URL)	
学生へのメッセージ		



タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 留学生科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	木3,木4
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	20140589000702	科目番号	05890007
授業科目名	●日本語上級ⅡS		
編集担当教員	冨田 美有紀		
授業担当教員名(科目責任者)	冨田 美有紀		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	冨田 美有紀		
科目分類	留学生用科目		
対象年次	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態	演習科目
教室	[教養A棟]A-14		
対象学生（クラス等）	全学部		
担当教員Eメールアドレス	miyut@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	環境科学部棟二階		
担当教員TEL	095-819-2240		
担当教員オフィスアワー	火曜日3、4校時(他の曜日、時間でも可能な場合あり。Eメールでも可能)		
授業の概要及び位置づけ	今後の大学での勉強に役立つ技能の習得、上達を目的とする。		
授業到達目標	相手に配慮した話し方ができるようになる。 自分の意見を相手に的確に伝えられるようになる。 相手の意見を理解して、それに対して意見が言えるようになる。 自分の意見をまとめ、聴く人に配慮して発表できるようになる。 時事問題や専門的な内容についての記事を理解し、それに対して自分の意見が持てるようになる。 自分の意見をまとめてレポートが書けるようになる。		
授業方法（学習指導法）	会話練習、レポート作成、討論、発表、読解。 ペア活動、グループ活動あり。		
授業内容	第1回から第4回までは会話、第6回から8回までは討論、第10回から12回は発表、第13回から15回は読解とそれに対するレポート作成をします。会話と討論はテストで評価します。発表とレポートは毎回の出来を評価の対象とするので、欠席するとその回の評価は0点になります。毎回まじめに授業に参加しなければ落ちると思ってください。		
	回	内容	
	1	4月10日：オリエンテーション、会話1-1	
	2	4月17日 会話1-2、1-3	
	3	4月24日 会話2-1、2-2	
	4	5月1日 会話2-3、3	
	5	5月8日 会話テスト、討論練習	
	6	5月15日 討論1	

	7	5月22日 討論2
	8	5月29日 討論3
	9	6月5日 討論テスト、発表練習
	10	6月12日 発表1
	11	6月19日 発表2
	12	6月26日 発表3
	13	7月3日 読解・レポート1
	14	7月10日 読解・レポート2
	15	7月17日 読解・レポート3
	16	
キーワード	会話、討論、発表、読解、レポート作成	
教科書・教材・参考書	教材：会話と討論の教材は初回に配布、発表とレポートの資料は毎回配布。 参考図書：「日本語学習者が作文を書くための用例集」宮原彬著、凡人社、1900円+税	
成績評価の方法・基準等	授業への参加度 5%、会話テスト10%、討論テスト 10%、討論時の発言 5%、発表 30%（毎回10%×3回）、発表時の質問 10%、ライティング 30%（毎回10%×3回）、 ※出席：遅刻三回で欠席一回とみなします。	
受講要件（履修条件）	日本語能力試験1級合格相当の日本語能力を有する留学生。	
備考（URL）		
学生へのメッセージ	発表原稿やレポートの作成には辞書を使ってもかまいません。ただし、インターネットや本に書かれた文を使う場合は引用文の後ろに（ ）を書いて、著者名と書かれた年を書き、最後に引用文献を書いてください。書いていない場合は剽窃(ひょうせつ)とみなし、評価せず、単位を出しません。	



タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 留学生科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	金3,金4
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	20140589000703	科目番号	05890007
授業科目名	●日本語上級ⅡS		
編集担当教員	源島 福己		
授業担当教員名(科目責任者)	源島 福己		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	源島 福己		
科目分類	留学生用科目		
対象年次	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態	演習科目
教室	[教養A棟]A-14		
対象学生（クラス等）	留学生		
担当教員Eメールアドレス	fgenjima@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	言語教育センター2階		
担当教員TEL	095-819-2238		
担当教員オフィスアワー	水曜日16:10-17:40		
授業の概要及び位置づけ	労働基準法や会社の就業規則の概要を学び、将来日本企業で働く場合の労働者としての基本的な法律上の権利や義務を理解する		
授業到達目標	日本企業で働いた場合に当然理解しておかなければならない、就業に伴う労働契約、給与、勤務時間、休憩時間、休日、時間外賃金等について説明できるようになる。		
授業方法（学習指導法）	日本語の資料に基づいて講義し、関連した内容についてグループディスカッション、プレゼンテーションを行う。また授業時間内に数回の理解度を図る小テストを実施する。		
授業内容	回	内容	
	1	4月11日（金）授業のオリエンテーション、教員の自己紹介、アイスブレイク、社会人基礎力調査	
	2	4月18日（金）労働基準法の概要	
	3	4月25日（金）労働基準法の概要	
	4	5月2日（金）社員募集と採用＋小テスト	
	5	5月9日（金）社員募集と採用	
	6	5月16日（金）人材活用	
	7	5月23日（金）人材活用	
	8	5月30日（金）給与と税金＋小テスト	
	9	6月6日（金）退職と解雇	
	10	6月13日（金）退職と解雇＋小テスト	
	11	6月20日（金）就業規則	
12	6月27日（金）就業規則＋小テスト		

	13	7月4日（金）社会保障制度
	14	7月11日（金）社会保障制度
	15	7月18日（金）まとめ+小テスト+授業評価
	16	
キーワード	労働基準法、内定、退職、解雇、就業規則	
教科書・教材・参考書	参考図書：日本の雇用と労働法（濱口桂一郎、日本経済新聞出版社）	
成績評価の方法・基準等	授業参加を前提としたグループディスカッション及びプレゼンテーション：10点 レポート：60点 小テスト：30点	
受講要件（履修条件）	日本で就職活動を行う予定の3，4年生が主たる対象 1,2年生は活発な議論に参加できる日本語能力	
備考（URL）		
学生へのメッセージ		



タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 留学生科目**」
 シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	火3,火4
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	20140589001001	科目番号	05890010
授業科目名	●日本語上級IIA		
編集担当教員	源島 福己		
授業担当教員名(科目責任者)	源島 福己		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	源島 福己		
科目分類	留学生用科目		
対象年次	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態	演習科目
教室	[教養A棟]A-14		
対象学生（クラス等）	留学生		
担当教員Eメールアドレス	fgenjima@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	言語教育センター2階		
担当教員TEL	095-819-2238		
担当教員オフィスアワー	水曜日16:10-17:40		
授業の概要及び位置づけ	バブル経済崩壊後、経済成長が鈍化した日本では様々な格差とそれに伴う貧困が拡大していると言われている。現実の日本社会でどのような格差が生じているのか、またなぜそれが貧困につながっているのかを、様々なテーマを通して考え、日本社会の現実をよりよく理解する。		
授業到達目標	日本ではどのような格差があり、それがどのような社会制度や環境から発生し、どう貧困問題につながっているのか、またそれは留学生の出身国の現状とどのような共通点や相違点があるのかを説明できるようになる。		
授業方法（学習指導法）	日本語の資料に基づいて講義し、関連した内容やテーマについて学生がグループで議論し、主要なポイントについて発表する。また授業中に理解度を図るための小テストを実施する。		
授業内容	回	内容	
	1	9月30日（火）授業オリエンテーション+DVD視聴+アンケート調査	
	2	10月7日（火）格差と貧困1 男女 文章の読解とディスカッション	
	3	10月14日（火）格差と貧困2 高齢者 文章の読解とディスカッション	
	4	10月21日（火）格差と貧困3 地域 文章の読解とディスカッション	
	5	10月28日（火）格差と貧困4 外国人労働者 文章の読解とディスカッション	
	6	11月4日（火）格差と貧困5 若者 文章の読解とディスカッション	
	7	11月11日（火）格差と貧困6 子供 文章の読解とディスカッション	
	8	11月18日（火）格差と貧困7 多重債務 文章の読解とディスカッション	
	9	11月25日（火）格差と貧困8 医療 文章の読解とディスカッション	
	10	12月2日（火）格差と貧困 障害者 文章の読解とディスカッション	
11	12月9日（火）格差と貧困 母子家庭・父子家庭 文章の読解とディスカッション		

	12	12月16日（火）格差と貧困 高等教育 文章の読解とディスカッション
	13	1月6日（火）格差と貧困 アジア 文章の読解とディスカッション
	14	1月13日（火）格差と貧困 米国 文章の読解とディスカッション
	15	まとめと授業評価
	16	
キーワード	格差、貧困、ジニ計数、貧困率	
教科書・教材・参考書	使用しない。教材は教員がプリントを配布する。	
成績評価の方法・基準等	出席を前提としたグループディスカッション及びプレゼンテーション 10点 レポート 60点 小テスト30点	
受講要件（履修条件）	上級日本語の能力を持ち、活発に日本語で議論できる 英語の研究レポートを読み理解できる	
備考（URL）		
学生へのメッセージ		



タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 留学生科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	木3,木4
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	20140589001002	科目番号	05890010
授業科目名	●日本語上級II A		
編集担当教員	古本 裕美		
授業担当教員名(科目責任者)	古本 裕美		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	古本 裕美		
科目分類	留学生用科目		
対象年次	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態	演習科目
教室	[教養A棟]A-14		
対象学生（クラス等）	学部1年, 2年, 3年, 4年		
担当教員Eメールアドレス			
担当教員研究室			
担当教員TEL			
担当教員オフィスアワー	水曜日2校時（10:30～12:00）		
授業の概要及び位置づけ	<ul style="list-style-type: none"> 日本の大学で学ぶために必要な、日本語力、情報伝達力、問題解決能力など身につける。 授業の他に、予習と復習にも重きを置き、効果的な学習サイクルを身につける。 		
授業到達目標	<ul style="list-style-type: none"> 上級レベルの文章を正確に理解し、まとめ、それを他者に正確に伝えられるようになること。 能動的に考えられるようになること。 自他の文化、考え、言語への理解を深めた後、その背景の分析や、問題解決ができるようになること。 効果的なプレゼンテーション（情報伝達）ができるようになること。 		
授業方法（学習指導法）	<ul style="list-style-type: none"> 授業前半は、教科書に沿って、読解、情報伝達、ディスカッション等を繰り返す。 授業後半は、前半で扱ったテーマをもとにして、日本人大学生を対象に意識調査を行い、その結果を発表する。 最終発表会に向けて、アカデミック・プレゼンテーションのためのシャドーイング練習を行う。 e-learning systemを利用して、宿題の受け取り、提出等を行う（予定）。 		
	授業前半（10月2日～12月18日）は、教科書に沿って授業が行われる。授業後半（12月18日～1月29日）は、受講生が日本人大学生を対象に意識調査を行い、その結果を発表する。		
	回	内容	
	1	10月2日（木） オリエンテーション	
	2	10月9日（木） テーマA 資料1の理解（内容把握、語彙・文型の理解と練習）	
	3	10月16日（木） テーマA 資料2の情報共有とディスカッション	
	4	10月23日（木） テーマB 資料1の理解（内容把握、語彙・文型の理解と練習）	
	5	10月30日（木） テーマB 資料2の情報共有とディスカッション	
	6	11月6日（木） テーマC 資料1の理解（内容把握、語彙・文型の理解と練習）	

授業内容	7	11月13日（木） テーマC 資料2の情報共有とディスカッション
	8	11月20日（木） テーマD 資料1の理解（内容把握、語彙・文型の理解と練習）
	9	11月27日（木） テーマD 資料2の情報共有とディスカッション
	10	12月4日（木） テーマE 資料1の理解（内容把握、語彙・文型の理解と練習）
	11	12月11日（木） テーマE 資料2の情報共有とディスカッション
	12	12月18日（木） 中間試験・今後の授業の進め方について
	13	12月25日（木） 調査・発表1 テーマ決定と調査準備
	14	1月8日（木） 調査・発表2 調査の実施と集計
	15	1月15日（木） 調査・発表3 発表の準備
	16	1月29日（木） 最終発表会・まとめ
キーワード	越境する文化, 変容する価値観	
教科書・教材・参考書	1. 『上級日本語教科書 文化へのまなざし：テキスト』（近藤安月子・丸山千歌（編著），東京大学出版会） 2. 『上級日本語教科書 文化へのまなざし：予習シート・語彙・文型』（近藤安月子・丸山千歌（編著），東京大学出版会）	
成績評価の方法・基準等	次の6つを総合的に評価する。 1. クイズ（15%） 2. 中間試験（35%） 3. 最終発表（30%） 4. 宿題（5%） 5. 授業への貢献度（10%） 6. シャドーイング（5%）	
受講要件（履修条件）	<ul style="list-style-type: none"> ・プレースメントテストで受講を認められた学部正規留学生 ・プレースメントテストで受講を認められた学部所属の交換留学生 ・木曜日の3校時目と4校時目の両方に出席すること 	
備考（URL）		
学生へのメッセージ	LACSを利用して、宿題を渡したり、提出したりします。頻繁にチェックしてください。また、LACSでは、現在の自分の評価をチェックすることもできます。	



タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 留学生科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	金3,金4
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	20140589001003	科目番号	05890010
授業科目名	●日本語上級IIA		
編集担当教員	永井 智香子		
授業担当教員名(科目責任者)	永井 智香子		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	永井 智香子		
科目分類	留学生用科目		
対象年次	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態	演習科目
教室	[教養A棟]A-14		
対象学生（クラス等）	学部正規留学生、学部所属交換留学生		
担当教員Eメールアドレス	nagai@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	環境科学部 2F		
担当教員TEL	095-819-2239		
担当教員オフィスアワー	金曜 5限		
授業の概要及び位置づけ	テレビ番組のドキュメンタリーなどを10分程度に編集したものを教材として授業を行い、日本語運用能力の向上を目指す。特に語彙と日本語の連語の知識の増加を目指す		
授業到達目標	この授業を通じて、日本語の力の向上が実感できるというだけでなく、昭和から平成のかけての時代の変化についての知識も得られるということを目指したい		
授業方法（学習指導法）	ビデオを視聴することと、その内容に関するハンドアウトを使いながら授業を進める。また、毎週火曜の3校時目に小テストを行う。		
	回	内容	
	1	オリエンテーション ウォーミングアップ	
	2	日本語の書き言葉の練習	
	3	見るビデオの内容に関連したことについて話し合う ビデオ視聴 ハンドアウトを使って日本語運用練習	
	4	小テスト 見るビデオの内容に関連したことについて話し合う ビデオ視聴 ハンドアウトを使って日本語運用練習	
	5	小テスト 見るビデオの内容に関連したことについて話し合う ビデオ視聴 ハンドアウトを使って日本語運用練習	
		小テスト 見るビデオの内容に関連したことについて話し合う	

授業内容	6	ビデオ視聴 ハンドアウトを使って日本語運用練習
	7	小テスト 見るビデオの内容に関連したことについて話し合う ビデオ視聴 ハンドアウトを使って日本語運用練習
	8	小テスト 見るビデオの内容に関連したことについて話し合う ビデオ視聴 ハンドアウトを使って日本語運用練習
	9	小テスト 見るビデオの内容に関連したことについて話し合う ビデオ視聴 ハンドアウトを使って日本語運用練習
	10	小テスト 見るビデオの内容に関連したことについて話し合う ビデオ視聴 ハンドアウトを使って日本語運用練習
	11	小テスト 見るビデオの内容に関連したことについて話し合う ビデオ視聴 ハンドアウトを使って日本語運用練習
	12	小テスト 見るビデオの内容に関連したことについて話し合う ビデオ視聴 ハンドアウトを使って日本語運用練習
	13	小テスト 見るビデオの内容に関連したことについて話し合う ビデオ視聴 ハンドアウトを使って日本語運用練習
	14	小テスト 見るビデオの内容に関連したことについて話し合う ビデオ視聴 ハンドアウトを使って日本語運用練習
	15	小テスト 見るビデオの内容に関連したことについて話し合う ビデオ視聴 ハンドアウトを使って日本語運用練習
	16	
	キーワード	高度経済成長
	教科書・教材・参考書	テレビ番組を編集したビデオ ハンドアウト
	成績評価の方法・基準等	小テスト50% 授業への取り組み20% 作文30% (変更の可能性あり、変更した場合は初日のオリエンテーションで伝える)
	受講要件(履修条件)	プレースメントテストで受講を認められた学部正規留学生 プレースメントテストで受講を認められた学部所属の交換留学生
	備考(URL)	
学生へのメッセージ		

